

小医発第207号
令和7年9月17日

-7.9.17

小牧市長 様

小牧市医師会
会 長 高 野 健 市



令和8年度以降の小牧市休日急病診療所（休日診療所）
外科の廃止（全部休診）について（要望）

日頃は、小牧市医師会に格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

当会では、昨年9月、休日診療所外科廃止についての要望書を提出し、貴市からの要請により、令和7年度については、暫定的にゴールデンウィーク、年末年始に限り外科診療を実施し、令和8年度以降については、その実施状況により廃止を検討していくこととなりました。

これを受け、今年4月から、休日診療所では外科診療が一部休診となりましたが、現在のところ、トラブル、問題は生じていないとお聞きしております。従いまして、令和8年度からは休日診療所外科を廃止していただくよう強く要望いたします。

【経緯】

R6.9.25 要望書提出

（概略）外科医師の年齢構成では、数年後に外科出務医師が半減し、休日診療所外科診療の継続が危ぶまれる。休日診療所の外科診療者数は1日5人程度であり、休日・祝日に外科診療を行う会員の医療機関、その他、第一病院（選定療養費不要）、小牧市民病院でも診療が可能であり、県内の状況（全39施設のうち外科標榜は6）も考慮し、廃止を要望する。

R6.11.12 貴市回答（当会理事会において）

（概略）医師会の事情を理解し、配慮させていただく。基本的に休日診療所の外科診療を休診とするが、医療が手薄となるゴールデンウィーク、年末年始については外科診療をお願いしたい。

R6.12.23 貴市へ報告・要望書提出

（概略）令和7年度については、暫定的にGW、年末年始に限り外科へ出務する。令和8年度以降については、引き続き休日診療所外科廃止を要望する。

7小保セ第3825号

令和8年1月26日

一般社団法人 小牧市医師会
会長 高野 健市 様

小牧市長 山下 史守朗

小牧市休日急病診療所診療の外科診療の廃止について(通知)

厳寒の候、貴会ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は、休日急病診療事業に格別のご理解、ご協力いただきお礼申し上げます。

さて、令和7年度から小牧市医師会からの要望を受け、外科の診療についてはゴールデンウィーク及び年末年始の医療機関が長期休業の期間を除き休診としてまいりました。

しかしながら、令和7年9月17日付けで改めて外科の診療の廃止に關しましてご要望いただきましたことから、休日に診療を行う医療機関があることや、本年度において特段大きな支障が生じなかったことなどを踏まえて検討を行った結果、令和8年度から外科診療を廃止したいと考えております。今後、小牧市休日急病診療所運営協議会にて協議を行うほか、条例改正等必要な手続きを行っていく予定でありますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

なお、市内に休日診療が可能な医療機関が第一病院及び市民病院を除きなくなった場合は改めて一次救急の体制確保に向け協議・協力いただくとともに、外科廃止後も軽微な外傷等は、休日急病診療所において適切な対応をいただきますようお願いいたします。

問合せ先 小牧市保健センター予防検診係 TEL 75-6471